



◎主催：占領下の盛岡実行委員会 ◎共催：盛岡市、NPO法人いわてアートサポートセンター
◎お問い合わせ：占領下の盛岡実行委員会事務局 occupied.morioka@gmail.com

戦後 80 年企画展

OCCUPIED MORIOKA 1945-1952

80 Years After World War II Special Exhibition [Sequel]

占領下の 盛岡

住宅接收の実態

続編

2026.1.15^{thu} - 1.28^{wed}

10:00 - 17:30 最終入場 17:00
最終日は 16:00 まで

もりおか啄木・賢治青春館〔2階展示ホール〕 **入場無料**

※1月17日(土)10:00-13:00および1月25日(日)12:30-15:30はトークイベントのため
展示ホールはご見学いただけません。(イベント終了後から再入場可能です)



もりおか
啄木・賢治青春館
MORIOKA
TAKEMOTO & KENJI
MUSEUM

Memorial Day in Morioka, 1946 ©Jeremy C. Holm, 11th Airborne Division historian, www.511pir.com



※本企画展は、もりおか啄木・賢治青春館令和7年度市民企画事業の採択を受けています。

戦後80年企画展 占領下の盛岡 住宅接收の実態

続編

2026.1.15 thu - 1.28 wed

10:00-17:30 (最終入場17:00/最終日は16:00まで)

もりおか啄木・賢治青春館〔2階展示ホール〕 入場無料

※1月17日(土)10:00-13:00および1月25日(日)12:30-15:30はトークイベントのため展示ホールはご見学いただけません。(イベント終了後から再入場可能です)



進駐軍が残したキャラクターの壁画

戦後、1945年から1952年にわたり連合国軍総司令部(GHQ)の占領下にあった日本。岩手県ではアメリカ軍の部隊およそ3000名が進駐し、岩手教育会館に司令部を置きました。また盛岡工業専門学校(現 岩手大学理工学部)は兵舎として、市内の民家約20軒は将校宿舎として接收されるなど、まちの風景や市民の日常生活は大きく変化していきました。

非軍事化と民主化を柱とする進駐軍の占領政策は、どのように進み、市民にどのような影響を与えたのでしょうか。この企画展では、2025年9月に開催した[中間報告]企画展で得た成果を踏まえ、未公開資料や生の証言を加えた続編として、住宅接收の実態を中心に占領下の盛岡をさらに見つめます。

本展が、私たちが暮らす盛岡のまちの歴史を、あらためてとらえ直すきっかけとなれば幸いです。

★ 展示内容

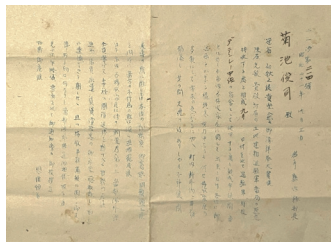
- 盛岡空襲と終戦
- GHQの占領政策
- 進駐軍の来盛
- 占領された盛岡
- 調達と接收
- 独立と返還
- 進駐軍の足跡

※展示内容は一部変更となる場合があります

★ 展示解説

日時：1月18日(日)、24日(土)、25日(日)
各11:00-11:30頃

解説：中島航 定員：各20名 料金：無料 ※予約不要



岩手県内務部長から祖母宅宛ての住宅接收決定通知

会期中同時開催 写真展「Morioka, Japan 1949-1950」

進駐軍として盛岡を訪れたMillard Maclaughlin氏が写した、色鮮やかな盛岡のまちなみや人々。孫のGordon Coale氏提供の約30点を展示します。現在地との比較や、当時撮影に使われたカメラ「ライカⅢc」(同等モデル)の展示をお楽しみください。



GHQ 岩手司令部が置かれた初代の岩手教育会館
©Millard Maclaughlin

最新情報はSNSをCHECK!

占領下の盛岡



Instagram



Facebook



今から80年前、

盛岡で何が起きていたのか。

祖母の家に残っていた4枚のキャラクターの絵。それは戦後、進駐軍の将校家族向け住宅として接收を受けた際に描かれたものだ。知ったことから、「占領下の盛岡」に関する研究が始まりました。しかし、一次資料が乏しく、その実態は謎に包まれたままでした。なぜその歴史は表に出てこなかったのか。戦後80年を迎えた今、これまで語られてこなかった歴史を「住宅接收」という視点から追及します。 実行委員長 中島航

EVENT / WORKSHOP

トークイベント・ワークショップ

1 クロストーク「盛岡にいた進駐軍の素顔」

盛岡に進駐していた部隊を専門に当時の写真・記録の保存・発信を続けるJeremy氏。元兵士への取材を重ねる中で得た証言や部隊が残した写真を手がかりに、盛岡にいた進駐軍の素顔や動向に迫ります。

ゲスト：アメリカ陸軍第11空挺師団歴史家
Jeremy C. Holm氏 ※オンライン登壇

聞き手：中島航

通訳：あまのさくや氏

日時：1月17日(土) 11:00-12:00頃

定員：40名

料金：1,400円(税込)

前日までの事前予約で200円割引

※お支払いは当日現金のみ



盛岡に進駐した第511パラシュート歩兵連隊 Edward H. Lahti 大佐
©Jeremy C. Holm, 11th Airborne Division historian, www.511pir.com

2 クロストーク「GHQに封印された馬の記録」

盛岡の歴史において、馬は人々の暮らしや産業を支える重要な存在でした。しかし戦後、GHQの政策によって馬に関する資料等が破棄されました。それはなぜなのか。盛岡と馬の知られざる歴史をひもときます。



外山御料牧場の牧場風景 (AIによりカラー化)
©(一社)外山御料牧場・開拓研究会
(原資料：三浦定夫氏所蔵)

ゲスト：一般社団法人 外山御料牧場・開拓研究会代表 中村辰司氏

聞き手：中島航

司会：(株)フロムいわて代表取締役社長 野田尚紀氏

日時：1月25日(日) 13:30-14:30

定員：40名

料金：1,400円(税込) 前日までの事前予約で200円割引

※お支払いは当日現金のみ

3 ワークショップ「GHQの英字資料を読んでみよう」

占領下の盛岡で、何が起きていたのか。GHQが作成した月例報告書や、進駐軍向け英字紙「Shin Iwate Nippo」の読み解き方を学び、その実態に触れてみませんか。

日時：1月17日(土)、24日(土) 各13:30-14:30頃

担当：中島航

定員：各10名程度

料金：500円 事前予約のみ受付

対象：ご自分のスマートフォンで翻訳アプリが使える方。
もしくは英語が堪能な方。

トークイベントおよびワークショップの
事前予約はこちら

